

Q 警察学校に入るための心構えは？

A 特別な事はありません。しかし、これまでの学校生活等と異なり、給与をいただきながら学んでいくわけですから、社会人としての自覚を持って入校して下さい。



Q 採用試験に備えて、どのような勉強をすればよいのですか？

A 教養試験、論(作)文とも大学(高校)卒業程度の能力を問うものです。参考書や市販されている警察官採用試験問題集、一般の公務員試験問題集等を活用して試験形式に慣れておくのと良いでしょう。

Q 配属先はどのようにして決まるのですか？

A 毎年、勤務地・勤務所属・勤務内容等の異動希望を調査します。これを元に、本人の希望、能力や適性に応じて配属先が決められます。



Q 現在、会社に勤めていますが、中途採用でも不利益はありませんか？

A 何ら不利益はありません。初任給は、経歴等に応じて一定の基準により加算されますし、採用試験はもちろんのこと、昇任試験も自分の努力と実力による公平な試験で行われます。

Q 警察官の仕事には危険が伴うと聞きますが、実際はどうですか？

A 事件現場における犯人の制圧や、災害時の救助活動等、危険な場面に遭遇する機会はあると思います。そうした場合の対処方法を身に付け、チームプレーで危険を回避します。

Q 柔道も剣道も初心者ですが、大丈夫でしょうか？

A 心配ありません。警察学校では柔道か剣道のどちらかを選んで授業を受けることとなりますが、入校するほとんどの学生が初心者です。授業では基礎から丁寧に指導しますのでご安心下さい。



Q 警察官は規律が厳しいと聞きましたが、どうなのでしょう？

A 個人の生命、身体、財産を守り、公共の安全と秩序を維持する崇高な職責が課せられている警察官には、この職責を完遂するために必要な規律が求められます。

Q 刑事や白バイ隊員にはどのようにすればなれるのですか？

A 警察学校を卒業すると、最初は警察署の交番に勤務します。その後本人の希望、適性、能力等を考慮して、刑事になるための教養や白バイ隊員になるための講習を受けた後、配属されるかどうかが決まります。



Q 自分の特技や技能を仕事に生かせるますか？

A 警察組織にはあらゆる犯罪に対処できるセクションが各種あります。コンピューター、外国語、簿記、ヘリコプター操縦士等の特技を生かして、多くの警察官が活躍しています。



Q 警察学校の寮はどうなっていますか？

A 採用されると、警察官としての規律を身に付けるため、全員が寮生活を送ります。初めは緊張するかもしれませんが、仲間と共に暮らすことで友情や連帯感が芽生えてきます。

Q 女性警察官はどのような部門で勤務していますか？

A 男性と同様に、個人の希望や適性により、様々な部門に配属され、それぞれ専門的な分野で幅広く活躍しています。



Q 新人警察官の研修期間はどのくらいですか？

A 警察官A区分(大学卒)の場合ですと、初任科教養6ヶ月、職場実習4ヶ月、初任補習科2ヶ月、実践実習3ヶ月の計15ヶ月。警察官B区分(高校卒業程度)の場合ですと、合計21ヶ月の研修期間になります。